

地域レベルの会議における主な議論のまとめ (地域の課題および市の課題)

- (1)地域で起きている問題と課題は、0～14のテーマに分類し、地域個別ケア会議と地域包括ケア推進会議で話し合われた内容をそれぞれ記載した。
- (2)地域での対応方針は、地域包括ケア推進会議で挙げられたものを内容に応じて、「実態把握」、「普及啓発」、「連携強化」、「取組検討」の4つに分け、さらに取組状況として「すでに取組んでいる」ものについては、下線を引いて記載した。
- (3)市レベルの課題は地域個別ケア会議と地域包括ケア推進会議で挙げられたものをそれぞれ記載した。

松戸市地域ケア会議におけるテーマ

テーマ
0. 新興感染症
1. 認知症
2. 介護予防
3. 多分野・地域共生
4. 国際
5. ペット
6. 生活支援
7. 移動支援
8. 孤立・孤独対策
9. 見守り
10. 災害
11. 医療・介護連携
12. 権利擁護
13. 消費者被害防止
14. 地域包括ケアシステム

テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議	
0.新興感染症	<p>●コロナ禍での外出機会減少</p> <p>○コロナ禍のため、サロン(難病の会など)や顔なじみの集まりが開催できていない(個45)</p> <p>○コロナ禍でもご自身のペースで体操・外出したいと思っているが、活動の場が少なく、外出機会が減っている(自7)</p> <p>●コロナ禍の見守り体制</p> <p>○感染症対策をとりながら見守りを行う体制づくり(個51)</p> <p>○コロナ禍で支援者を自宅にあげることに抵抗があり、支援が滞っている(個53)</p>		普及啓発	<p>○個々が感染症を正しく恐れ、感染症対策をとりながら活動を継続できるための情報提供</p>		

テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区	
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		
1. 認知症	<p>●認知症の普及啓発</p> <p>○若年性認知症に関する地域住民の理解（個7）</p> <p>○認知症の理解促進（個15,37,48,自18）</p> <p>○家族会や当事者の会の周知（自18）</p> <p>○認知症の本人や家族を支える社会支援の周知（自6）</p> <p>●地域環境</p> <p>○認知症夫婦世帯が増加（個5）</p> <p>○地域との関わり（個37）</p> <p>●支援体制の不足</p> <p>○地域での見守り（個4,11,12,21,48,自2）</p> <p>○商店との良好な関係作り（個4,36,37）</p> <p>○正しい服薬（個5,27,28,29）</p> <p>○若年性認知症の方の仕事や活動の場の不足（個7）</p> <p>○かかりつけ薬局制度の推進（個27）</p> <p>○安全かつ安心して過ごせるためのつながり（個39）</p> <p>○本人、家族の傾聴支援（個40）</p> <p>●居場所の不足</p> <p>○活躍出来る場の整備（個27,28,35）</p>	○公的サービスを利用することで地域や社会とのつながりが希薄になる	実態把握	○認知症の症状と対応の情報共有		五香松飛台 小金	
			普及啓発		○若年性認知症の普及啓発 ○医療、薬の情報が一元管理できるシステムの普及啓発 ○商店への認知症の普及啓発		○感染症対策の普及啓発 ○認知症サポーター養成講座の普及啓発
			連携強化	○民生委員との連携 ○回覧板等の地域の声掛け	○家庭で多くの問題を抱えている方への支援・連携		
			取組検討	○オンラインの活用 ○社会参加のきっかけ作り	○服薬管理できない認知症高齢者のための新しい社会資源 ○服薬器機のお試し等のサービスの充足 ○若年性認知症の方に対する社会資源 ○活躍出来る場を地域に設ける ○認知症本人及び家族を含めた傾聴支援 ○インフォーマルサービスの充実 ○商店との見守りネットワークの強化		○オンラインの推進 ○バリアフリーな環境整備
2. 介護予防	<p>●セルフケアに対する啓発および社会資源の不足</p> <p>○高齢者のセルフケアを促す工夫（個14,26,54,55,自1,5）</p> <p>○コロナ禍での外出機会の減少（個55）</p>		取組検討	○自発的な活動を促すための場づくり ○オンラインを活用した機能訓練を行うための体制づくり			

テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区	
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		
3.多分野・地域共生	<p>●障害や認知症等の理解</p> <p>○若年性認知症と思われる方の社会参加（個7）</p> <p>○疾病により他者との交流が難しく、生活に支障をきたしている方への支援（個16）</p> <p>●公的サービスでは補いきれない支援の不足</p> <p>○生活が破綻する中、介護、障害制度に該当しない方への支援（個13）</p> <p>●多問題を抱える世帯への支援</p> <p>○キーパーソン不在で認知症が進行している高齢者の支援（個17,34,54）</p> <p>○親の介護で就労できない子と高齢者の経済的支援（個24,自3）</p>	<p>●認知症高齢者が地域で暮らしつづけるための体制づくりが必要</p> <p>○独居高齢者の認知症進行により近隣住民が金銭管理等の援助を行っている。</p> <p>●多問題を抱える世帯への支援不足</p> <p>○複合課題を抱えた世帯に地域が気づかない、気づいていても相談に繋がらない</p>	実態把握		○独居高齢者の情報を把握するための体制づくり	五香松飛台	
			普及啓発		○若年性認知症に対する理解 ○障害者に対する理解促進		○近隣住民同士のつながり強化の重要性について啓発
			連携強化	○担当者会議等でインフォーマルサービスの協力を得ながら認知症高齢者が地域で暮らすための支援を行う。 ○「地域共生」について横につながる体制づくり	○支援者同士の連携強化に向けた体制づくり ○子世代の自立に向けた連携と支援		○複合的な課題に対応する際の支援者の役割分担の明確化
			取組検討		○地域住民の見守り体制の構築		
5.ペット		<p>●飼育が困難となった場合の社会資源の不足</p> <p>○高齢者は身体・認知機能の低下によりペットの飼育が困難になることが多いが、ペットに関する地域資源がなく、自助に頼らざるをえない状況である。</p>	普及啓発	○飼い主の意識向上をめざす。	○高齢者のペット飼育について知識の普及	新松戸	
			連携強化	○飼い主同士の交流の場を検討。			
			取組検討		○経済的理由から有料サービスに預けることのできない飼い主への支援		

テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区	
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		
6.生活支援	<p>●在宅生活全般を支える</p> <p>○空調管理、火の不始末等心配される認知症高齢者への支援（個1,4,11,13,16）</p> <p>○認知症の方と判断力の低い介護者に対する支援（個5,34,41,54）</p> <p>○在宅生活に強いこだわりを持つ高齢者を支える（個33,38,自17）</p> <p>○家事の習慣がない独居高齢者の自立支援に向けた支援（個46）</p> <p>●介護者の負担軽減</p> <p>○介護負担がある家族等への支援（個3,9,12,32,40,44,50）</p> <p>○認知症に対する理解が低い家族への支援（個15,45,49,自18）</p> <p>○介護により就労できず、生活に支障をきたしている（個24）</p> <p>●資源とゴミの分別</p> <p>○ごみを捨てられない高齢者への支援（個25,自10,14）</p> <p>●生活困窮者の暮らしを支える</p> <p>○家電があれば自立可能な生活困窮者への支援（個26）</p> <p>○負債で適切なケアが受けられない高齢者への支援（個31）</p>	<p>●ゴミ出し、分別が困難な高齢者への支援</p> <p>○ゴミ出し、分別が困難な高齢者への支援が必要。</p> <p>●資源の有効活用に関する取組み</p> <p>○買い物依存症の高齢者が所有する大量の衣類を資源として活用する仕組みがない。</p> <p>○家電があれば自立生活が可能だが、経済的に困窮しており必要物品を購入することができない。</p> <p>●外出困難な方に対する生活支援</p> <p>○ADL低下で外出ができず、受診、買い物等ができない。</p> <p>●精神面の悪化を原因とする身体状況悪化防止に向けた取組み</p> <p>○配偶者の急死で身体状況が悪化し、生活に影響が出ている。</p>	実態把握	<p>○ゴミ屋敷となる原因や実態の把握を行い、住民間でも共有する。</p> <p>○下取りできる場所、安く購入できる場所について情報収集を行う。</p>	<p>○介護離職となっている世帯の把握。</p>	<p>明2西 本庁 常盤平 六実六高台 新松戸</p>	
			普及啓発	<p>○ゴミ出しアプリの普及啓発</p> <p>○環境業務課へのパートナー講座依頼</p> <p>○研修会等で「若い」や「死」と向き合うための機会をつくる</p>	<p>○認知症高齢者に対する理解</p> <p>○権利擁護の普及啓発</p>		<p>○ふれあい収集の周知</p> <p>○ゴミ出し、分別に関するよりわかりやすい情報提供</p> <p>○通勤、通学時にゴミ出しができる支援団体の立ち上げ</p>
			連携強化	<p>○移動スーパーによる買い物支援</p> <p>○出張相談窓口の実施</p>	<p>○認知症高齢者の見守り体制</p> <p>○介護者のつどい</p>		<p>○移動スーパーとの連携</p>
			取組検討	<p>○高齢者がわかりやすい分別一覧表の作成</p> <p>○不要な資源と購入希望者のマッチングへの体制づくり。</p>	<p>○経済的な余裕のない方に対するゴミ捨ての支援、資源活用の支援</p>		<p>○不用品と購入希望者のマッチングに向けた体制づくり。</p>
7.移動支援	<p>○玄関までの階段数が多く外出機会が制限されている(個22)</p> <p>○家族の免許返納後の移動手段がない(個45)</p>		普及啓発	<p>インフォーマルサービスの周知</p>			

テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議	
8.孤立・孤独対策	<p>●様々な属性・ニーズに応じた居場所の不足</p> <p>○コロナ禍により集いが開催できていない(自7,8,9)</p> <p>○視覚に不安のある方の集まりやオンラインでの集まりがない(個24)</p> <p>○気軽に立ち寄れる地域の居場所が少ない(個26)</p> <p>○共に食事を食べるという内容の社会資源が少ない(個27)</p> <p>○認知症や難聴などコミュニケーションが取り難く、社会参加が困難な独居高齢者が増えている(個54)</p> <p>○高齢の本人と未婚の子の世帯へのアプローチの困難さ(個47)</p> <p>○配偶者を亡くした方のピアカウンセリングの場の不足(個8)</p> <p>○介護離職に追い込まれる(個24,自3)</p>	<p>○生きがいを持てる居場所づくり</p> <p>○担い手(地域活動者)確保に係る課題</p> <p>○高齢者のみならず誰でも集える居場所づくり</p>	実態把握	<p>○既存の活動している資源を把握する</p> <p>○必要な居場所や役割を把握し、支え手を増やす等の意見を地域で共有</p>		
			普及啓発			<p>○感染症対策の普及啓発</p>
			連携強化	<p>○社会との繋がりが弱い方へ、信頼している主治医から社会的処方(薬の処方のように)をしてもらい、介護保険や社会資源へ繋ぐシステム</p>	<p>○地縁団体などの確立、理解と働きかけ</p>	<p>○社会との繋がりを処方する“社会的処方”の推進</p>
			取組検討	<p>○正しい感染対策をしり再開に向けた取組みを考える</p>	<p>○パソコンやオンラインでの新しい体操教室や趣味活動の集いの場</p> <p>○若年性認知症の方の仕事や活動の場、その他の社会資源が不足している</p> <p>○家族の死をきっかけにフレイルが急速に進む高齢者への対策(精神的ケアや生活支援など)</p> <p>○活躍出来る場を地域に設ける(有償ボランティアする場等)</p> <p>○所属の欲を発散できる場が必要(フリーマーケットや直接的な譲渡等)</p>	<p>○正しい感染対策をしり再開に向けた取組みを考える</p> <p>○回覧板等の地域の声掛け</p> <p>○オンラインの活用</p> <p>○バリアフリーな環境</p>

矢切
常盤平団地
五香松飛台
小金
新松戸

テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区	
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		
9.見守り	<p>●支援を必要とする方の地域での見守り</p> <p>○独居高齢者の地域での見守り (個1,4,11,39,20)</p> <p>○認知症高齢者の地域での見守り (個1,4,10,11,14,21,29,39,48)</p> <p>○独居・認知症高齢者が消費者被害に合わないための見守り (個2,6)</p> <p>○家族を失った高齢者への地域での手助け (個8)</p> <p>○制度の狭間にある方を支える地域の社会資源や見守り体制が必要 (個13)</p> <p>●認知症や障害のある方が安心して暮らせる地域づくり</p> <p>○障害のある高齢者が安心して生活するための地域での関わり (個16)</p> <p>○精神症状のある高齢者の地域での対応方法 (個19,23)</p> <p>○若年性認知症の地域での見守り (個49)</p>	<p>○消費者被害未然防止のための普及、啓発。</p> <p>○認知症高齢者に対する地域での見守り</p> <p>○介護者の孤立を防ぐ</p> <p>○コロナ禍で町会活動が休止し続けているなかで顕在化する課題への対応</p> <p>○地域と繋がりが希薄である場合緊急時に助け合うことができない可能性がある。</p>	実態把握	<p>○つながりのない人の把握、地域住民との関係作り。</p> <p>○適切な情報を収集できる様にする。</p>		<p>明1 五香松飛台 小金原 馬橋西</p>	
			連携強化	<p>○消費者被害の未然防止、被害の早期発見、早期報告ができる見守りネットワークの構築。</p> <p>○コロナ禍でも十分な対策を講じた上でクリーンデーなどが重要な活動の場となり、町会長が窓口となり挨拶や声かけを行う。</p>	<p>○独居の方を見守るネットワークづくり</p> <p>○コロナ禍であっても地域での助け合いや見守りのできる関係づくり</p>		<p>○問題が複合化しているケースが多く、支援者側の横のつながりを構築する体制</p>
			普及啓発	<p>○認知症の症状や対応方法を認知症サポーター養成講座等を通じて周知し、地域での対応を協議する</p> <p>○ピアカウンセリング紹介</p>	<p>○消費者被害未然防止に向け、積極的に普及・啓発を行う必要がある</p>		<p>○電話d e詐欺撃退機器の普及啓発促進。</p> <p>○消費者被害未然防止のための普及、啓発活動の促進。○相談窓口の紹介</p> <p>○オレンジ協力員、認知症ケアパスの普及啓発</p> <p>○情報発信ツールの普及啓発。</p>
10.災害		<p>○地域の繋がりを作るにはどうすればいいか</p> <p>○災害時に協力し合える世代を超えた関係づくり</p>	普及啓発	<p>○今までに関わりのない地域住民等にアプローチし、地域で見守る人を増やす。</p>		<p>明2東 馬橋</p>	
			連携強化	<p>○新しい住民は多くなっている為、DIG訓練に参加してもらう</p> <p>○町会とサービス事業所の顔の見える関係づくり。</p>			

テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議	
11.医療・介護連携	<p>●病識欠如、認知機能低下等がある方の服薬管理</p> <p>○認知症高齢者が服薬管理をするための対応（個5,個28）</p> <p>○病識が薄い認知症高齢者の糖尿病管理（個14）</p> <p>○ドクターショッピングを繰り返し、受診・服薬管理ができていない高齢者への対応（個27）</p> <p>●受診が必要と思われる方の医療への接続</p> <p>○精神症状が出ている独居高齢者の医療への接続（個19,30）</p> <p>○受診拒否の自立独居高齢者への関わり（個20,52）</p> <p>●認知症・精神疾患の理解促進</p> <p>○若年性認知症への支援（個7）</p> <p>○精神疾患を持つ高齢者の家族への助言指導（個12）</p> <p>●入退院支援</p> <p>○キーパーソン不在の認知症高齢者の退院支援（個17）</p> <p>○救急搬送もコロナ禍で入院できない場合の対応（個31）</p>	<p>○高齢になり、身体・認知機能の低下が見られ、住み慣れた地域での生活を継続していく為には、医療と福祉の関係機関同士の情報共有と情報共有システムの構築、ツールの作成、利用促進が必要である。</p>	普及啓発	<p>○かかりつけ薬局制度の推進</p> <p>○正しい受診方法や薬局の使い方の啓発</p> <p>○マイナンバー健康保険証・電子手帳等のお薬情報・医療情報の一元管理ができるシステムの周知</p>	<p>○医療・介護連携地域ICTシステムについて介護支援事業所等の関係機関への研修等を実施し、活用を促進する。</p>	東部
			取組検討	<p>○連絡ノート等を活用し、関係機関で情報共有していく。</p> <p>○紙ベースでのやり取りには時間を要すること、コロナ禍による在宅ワークやコロナ感染に配慮した訪問の場合、スマホやタブレット、PC等を利用し情報共有する。</p>		
12.権利擁護	<p>●支援体制の不足</p> <p>○権利擁護の普及啓発(個32)</p> <p>○日常生活に必要な毎日の金銭管理をする制度がない（個37）</p> <p>○インフォーマルサービスも含めた多面的に支援するための体制が不十分（自11）</p>	<p>○成年後見制度の利用や意思決定支援が重要</p> <p>○自ら助けを求めることができない</p>	普及啓発	<p>○認知症サポーター養成講座</p> <p>○地域の方向けに権利擁護に関する研修会を開催</p> <p>○子育てライン等コミュニケーションツールの普及啓発</p>	<p>○成年後見制度の普及啓発</p> <p>○虐待防止条例の普及啓発</p>	五香松飛台 小金 馬橋西
			取組検討	<p>○関係者が意思決定支援に対する共通認識を持ち、支援する</p>	<p>○毎日の金銭管理をする制度</p>	

テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議	
13.消費者被害	<p>●消費者被害防止の対応策</p> <p>○消費者被害未然防止に向けた普及・啓発活動（個2）</p> <p>○地域の見守りによる詐欺被害、万引き防止（個4）</p> <p>○電話de詐欺や悪質商法の被害にあう高齢者が増えている（個6）</p>	○消費者被害未然防止のための普及、啓発	普及啓発	○消費者被害への対策 ○悪徳商法の業者等に介入されないような体制づくり、地域づくり	○消費者被害未然防止のための普及、啓発活動の促進 ○電話de詐欺撃退機器の普及啓発促進	明1
			連携強化	○つながりのない人の把握、地域住民との関係作り ○消費者被害の未然防止、被害の早期発見、早期報告ができる見守りネットワークの構築		